

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【公開番号】特開 2018-7800 (P2018-7800A)

【公開日】平成 30 年 1 月 18 日 (2018.1.18)

【年通号数】公開・登録公報 2018-002

【出願番号】特願 2016-138074 (P2016-138074)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 18 日 (2020.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 始動口への入球に基づいて第 1 特別図柄に関する第 1 抽選を行う第 1 抽選手段と、
 第 2 始動口への入球に基づいて第 2 特別図柄に関する第 2 抽選を行う第 2 抽選手段と、
 前記第 1 抽選の結果に基づいて、前記第 1 特別図柄を変動表示し、所定の表示結果を導出させる第 1 特別図柄表示制御手段と、
 前記第 2 抽選の結果に基づいて、前記第 2 特別図柄を変動表示し、所定の表示結果を導出させる第 2 特別図柄表示制御手段と、
 通常の遊技状態よりも前記第 2 始動口への入球可能性を高め得る特定遊技状態に制御し得る遊技状態制御手段と、を備え、
 前記第 2 抽選の結果が小当りの場合に小当り遊技を実行し、該小当り遊技中に遊技球が特定領域を通過することで所定の遊技利益を遊技者に付与しうるものであり、
 前記第 2 抽選は、前記第 1 抽選よりも前記小当りに当選する可能性が高いものであり、
 前記遊技状態制御手段は、
 前記特定遊技状態の開始後、前記第 2 特別図柄の変動表示回数が所定の限度回数に達した場合に、前記特定遊技状態を終了させる特定遊技状態終了手段と、
 前記特定遊技状態の開始後、前記第 2 特別図柄の変動表示回数が前記限度回数に達することなく前記第 1 特別図柄の変動表示回数が前記限度回数よりも多い所定回数に達した場合であっても、前記特定遊技状態を終了させずに維持する特定遊技状態維持手段と、を有する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

また、大当り遊技状態の終了後に通常時に比べて特定の始動口へ遊技球が入球する確率が高められた時短状態に制御する遊技機が多数提案されている（例えば、特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、上記した遊技機では、大当り遊技状態の終了後に時短状態に制御された場合に通常時と比べて特定の始動口へ遊技球が入球する確率が高められることで単位時間当たりの大当り発生確率は高まるものの、時短状態で実行される遊技態様については通常時とほとんど変わらないため、遊技自体の面白みに欠け、結果として遊技興趣を低下させるおそれがある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

第1始動口への入球に基づいて第1特別図柄に関する第1抽選を行う第1抽選手段と、

第2始動口への入球に基づいて第2特別図柄に関する第2抽選を行う第2抽選手段と、

前記第1抽選の結果に基づいて、前記第1特別図柄を変動表示し、所定の表示結果を導出させる第1特別図柄表示制御手段と、

前記第2抽選の結果に基づいて、前記第2特別図柄を変動表示し、所定の表示結果を導出させる第2特別図柄表示制御手段と、

通常の遊技状態よりも前記第2始動口への入球可能性を高め得る特定遊技状態に制御し得る遊技状態制御手段と、を備え、

前記第2抽選の結果が小当りの場合に小当り遊技を実行し、該小当り遊技中に遊技球が特定領域を通過することで所定の遊技利益を遊技者に付与しうるものであり、

前記第2抽選は、前記第1抽選よりも前記小当りに当選する可能性が高いものであり、

前記遊技状態制御手段は、

前記特定遊技状態の開始後、前記第2特別図柄の変動表示回数が所定の限度回数に達した場合に、前記特定遊技状態を終了させる特定遊技状態終了手段と、

前記特定遊技状態の開始後、前記第2特別図柄の変動表示回数が前記限度回数に達することなく前記第1特別図柄の変動表示回数が前記限度回数よりも多い所定回数に達した場合であっても、前記特定遊技状態を終了させずに維持する特定遊技状態維持手段と、を有することを特徴とする（例えば、段落0814～0818参照）。